

平成27（2015）年度

事業報告書

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月 31日

公益財団法人太宰府市国際交流協会

事業報告書

本協会は、古代からアジアに開かれ、歴史、文化等が連綿と今日まで続いてきた太宰府ならではの地域性に鑑み、未来志向の国際交流を促進する活動を行うことにより、市民一人ひとりが個性、多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現に寄与し、もって地域の発展と国際平和に貢献することを目的としており、その目的を達成するために、「ア 国際交流促進事業」、「イ 外国人学生支援事業」、「ウ 在住外国人支援事業」の3つの分野における事業を実施した。

ア 国際交流促進事業

1. 日本文化体験講座

日本の伝統的なスポーツである「空手」を体験する講座を開催。公益社団法人日本空手協会「晟心館」から講師5名を招き、演武の披露、空手体験、護身術の体験を行ったほか、昼食を兼ねて留学生と一般市民との交流会を開催した。

開催日：平成28年1月17日（日）

場 所：太宰府館まほろばホール

参加者：33名（日本24名、中国6名、韓国2名、インド1名）

2. 国際交流団体助成事業

助成団体数：1団体

① 韓国百済初等学校姉妹校交流（来日中止となったため児童およびPTAから記念品を送付）および太宰府西小学校ワールド交流会

開催日：平成27年7月～10月（韓国百済初等学校姉妹校交流）

平成28年2月6日（土）（太宰府西小学校ワールド交流会）

申 請：太宰府市立太宰府西小学校 PTA

3. 国際理解教育支援事業

ゲストティーチャー（教育機関への留学生等の派遣）

開催日順：計4団体

① 第3学年 総合的な学習 単元名「発見・お隣の国・韓国」

開催日：平成27年9月8日（火）

主 催：太宰府市立水城小学校

派 遣：九州情報大学留学生6名（出身国：韓国）

② ふれあいフェスタ

開催日：平成27年10月17日（土）

依頼者：太宰府西国際交流まいんどクラブ

派 遣：福岡国際大学留学生6名（出身国：中国6名）

- ③ 太宰府西小学校ワールド交流会
開催日：平成 28 年 2 月 6 日（土）
主催：太宰府市立太宰府西小学校
派遣：日本経済大学留学生 3 名（出身国：イギリス 2 名、ドイツ 1 名）
九州情報大学留学生 5 名（出身国：中国 4 名、ベトナム 1 名）
福岡国際大学留学生 3 名（出身国：中国 3 名）
- ④ 太宰府西国際交流まいんどクラブ新年会
開催日：平成 28 年 2 月 7 日（日）
主催：太宰府西国際交流まいんどクラブ
派遣：九州情報大学留学生 1 名（出身国：ベトナム 1 名）

4. 外国語文化講座

太宰府市嘱託職員として勤務している韓国出身の国際交流員を講師に迎え、韓国語を学びながら韓国料理に親しむ韓国語料理教室を開催した。参加者の言語能力は問わず自己紹介や食べ物の名前、食事をする際に使うあいさつ等の韓国語を学びながら参鶏湯など 4 種類の料理を作り韓国文化に親しんだ。

開催日：平成 27 年 8 月 2 日（日）
場 所：太宰府市いきいき情報センター調理室
参加者：37 名（出身国：日本 36 名、韓国 1 名）

5. フレンドベル倶楽部メンバーの集い

年間事業報告や今後の活動方針などの報告を行う総会を開催するとともに、外国人や留学生に自国の料理を作ってもらい、当協会の賛助会員および留学生、在住外国人との交流の場として開催した。留学生や在住外国人に対し、日本文化の紹介として三味線と和太鼓の演奏や書道パフォーマンスを実施した。

開催日：平成 27 年 7 月 18 日（土）
場 所：太宰府市いきいき情報センター多目的ホール
参加者：105 名（出身国：日本 67 名、中国 17 名、韓国 11 名、
ベトナム 7 名、台湾 1 名、カナダ 1 名、スペイン 1 名）

6. 広報啓発事業

(1) パンフレット、資料収集・提供

- ・協会事務局窓口や太宰府市いきいき情報センター等の公共施設に国際交流関連の刊行物や資料を配架し、協会の PR、国際交流に関する啓発を図った。
- ・市庁舎 1 階市民ギャラリーおよび太宰府市いきいき情報センター市民ギャラリーにて協会事業報告パネル展を開催した。
- ・現在加入している福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）ほか各種国際交流関係団体や近隣の他市国際交流協会等他団体との連携を図り、資料収集や情報交換を行った。

(2) 機関紙の発行

- ・賛助会員会報「フレンズベル NEWS」を毎月（12回）発行した。

(3) ホームページ情報発信

- ・太宰府市ホームページ内に作成していた当協会のホームページを、独自に設け、利便性を高めるために内容を刷新し、協会の事業や活動を広くアピールしていくための情報発信を行った。

ホームページアドレス：<http://www.dciea.or.jp>

各種国際交流関係団体への参画状況

	開催日	参画会議（連携機関等）	主催
1	6月11日（木）	中村哲氏と考えるアジアの平和と国際貢献	（公財）西日本国際財団
2	6月25日（木）	福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）第154回連絡会	福岡国際関係団体連絡会
3	9月17日（木）	福岡アジア文化賞授賞式・講演会	福岡市 （公財）よかトピア記念国際財団
4	9月18日（金）	中国語セミナー	西日本シティ銀行
5	10月18日（日）	第13回外国人による日本語スピーチコンテスト	日本語スピーチコンテスト実行委員会
6	10月22日（木）	福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）第156回連絡会	福岡国際関係団体連絡会
7	12月6日（日）	留学生・帰国留学生交流フォーラム	福岡県留学生サポートセンター
8	12月13日（日）	第2回大野城市英語・日本語スピーチコンテスト	大野城市英語・日本語スピーチコンテスト実行委員会
9	12月20日（日）	留学生向け就職支援セミナー	福岡県留学生サポートセンター
10	2月21日（日）	大野城市国際交流パーティー	大野城市国際交流協会
11	2月25日（木）	福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）第158回連絡会	福岡国際関係団体連絡会
12	3月7日（木）	福岡県市町村国際交流協会連絡会	（公財）福岡県国際交流センター
13	3月7日（木）	第17回西日本国際財団アジア貢献賞、第11回西日本国際財団アジアKids大賞授賞式	（公財）西日本国際財団
14	3月27日（日）	外国人と地域の方々のための災害時外国人支援講座	（公財）福岡県国際交流センター

7. 太宰府市民政庁まつり出展

太宰府市民政庁まつりには、協会活動の PR と国際交流の場を設けることを目的に出展し、協会リーフレットの配布、募金者への風船配布(風船を 1,500 個準備)、民族衣装の展示・試着コーナー、国旗当てクイズコーナー等を設置した。

また、市内大学の大学生(福岡国際大学留学生3名、九州情報大学留学生2名)や市内高校生(筑陽学園高等学校4名)がスタッフとして参加し、各コーナーで市民との交流を活発に行った。多くの市民に協力いただいた募金は、一般財団法人風に立つライオン基金に寄付した。

開催日：平成 27 年 10 月 3 日 (土)

場 所：太宰府政庁跡

8. 市内並びに近隣の国際交流団体が行う交流事業への共催、後援等の実施

開催日順 計 3 団体

① 第 34 回太宰府少年の船

開催日：平成 27 年 8 月 8 日 (土) ～12 日 (水)

主 催：太宰府少年の船協会

② 太宰府・小鳥居小(笑)路寄席

開催日：平成 27 年 10 月 23 日 (金)

主 催：太宰府・小鳥居小路寄席実行委員会

③ アジア太平洋こども会議・イン福岡

開催日：平成 28 年 3 月 25 日 (金) ～4 月 2 日 (土)

主 催：NPO 法人アジア太平洋こども会議・イン福岡

イ 外国人学生支援事業

1. セカンドファミリー事業

留学生とホストファミリーをマッチングさせ、事務局から交流期間等（対面後～平成28年2月末）の事業説明を行い、マッチングした留学生とホストファミリー同士で交流日程等の詳細について話し合い、ホームステイまたはホームビジットによる交流をしていただいた。

参加者：留学生等7名（出身国内訳：中国4名、韓国3名）

ホストファミリー3家族

場 所：太宰府市いきいき情報センター内当協会事務室

2. 史跡散策交流会

「身近にある太宰府天満宮、九州国立博物館について知ろう」をテーマに開催。太宰府天満宮の味酒禰宜の講演や太宰府天満宮の解説員と太宰府天満宮を散策しながらの解説、九州国立博物館の文化交流展の見学を行ったほか、昼食を兼ねて留学生と一般市民との交流会を実施した。

開催日：平成27年11月29日（日）

場 所：太宰府天満宮、九州国立博物館

参加者：47名（日本26名、中国12名、韓国3名、ベトナム2名、ネパール2名、インド1名、台湾1名、）

ウ 在住外国人支援事業

1. 日本語教室支援

太宰府日本語教室ことだまの会に委託し、在住外国人を対象に日本語の習熟ならびに日本文化や生活習慣を学ぶ場として、日本語教室を太宰府市と共催で毎週月曜日に太宰府市いきいき情報センターにて実施した。

2. 生活支援ガイドブック

太宰府市と共同で在住外国人の日本における生活の利便性向上を図るため「外国人のための太宰府市生活情報ガイドブック」の情報更新を行い、2016年度版が3月下旬に完成した。

なお、生活情報ガイドブックの内容充実のため開催を予定していた留学生等フォーラムについては、3月に開催するところで調整を図っていたが、招聘する講師の都合により開催が困難となり、改めて来年度に開催することとした。

附属明細書

事業報告を補足する重要な事項はない。